

# ～ ネット・SNSの「いじめ」～ その発言、「いじり」だと思ってる？

現在、インターネットやSNSは、私たちの生活のさまざまな場面ひつようぶかけつで使われる、必要不可欠な社会基盤しゃかいきばん（インフラ）となっています。情報を調べたり、たくさんの人かんたんと簡単にコミュニケーションがとれたりする便利なものですが、インターネット・SNS上での発信・投稿には気をつけなければなりません。なぜなら、発信者の意図いととは違う伝わり方ちがをする可能性かのうせいがあり、知らず知らずのうちに誰かだれを傷つけてしまうことがあるからです。自分が「いじり」のつもりで発信したことが、相手は「いじめ」と感じてしまうことも…。今回は、「いじり」のつもりが「いじめ」になってしまっていた事例を紹介します。

🗨️ これもいじめ ～ いじりだと思ってたことがいじめに ～

## ケース1 - 面白いと思ったのに -

Aさんは、面白いと思ったBさんの写真を加工し、SNS上に投稿とうこうしました。Aさんは、軽い「いじり」のつもりでしたが、Bさんはその写真のせいで、変なあだ名で呼ばれるようになりました。それが嫌いやになったBさんは、学校に行けなくなってしまいました。



## ケース2 - 少し返信が遅れただけなのに -

Cさんはある日、部活や家のことで忙いそがしく、友人とのグループチャットを見ることができませんでした。ようやく返信できるようになり、グループチャットを見てみると、そこには心ないメッセージがたくさん書かれていました。傷ついたCさんは、人を信用できなくなり、家にとじこもるようになってしまいました。



## 📖 考えよう ～ 「いじめ」と「いじり」の境界線 ～

どちらの事例も、メッセージや投稿をした側は、相手を傷つけるつもりはありませんでした。

Bも笑ってくれると  
思ったのに…



返信が遅かったCを  
いじっただけなのに…



しかし、受け取った側は傷つき「いじめられた」と感じる場合があります。

メッセージなどを送る前に、お互いに顔が見えない状態でこのメッセージを見たら、相手がどう思うのか、どう感じるのか、よく考えてからメッセージを送るようにしましょう。

相手に思いやりをもってネット・SNSを利用しましょう！